

校内別室を安心できる居場所へ

不登校児童の状況

対象児童は、小学校6年生女児。入学から小学校3年生まで不登校傾向であったが、小学校4年生の10月から全く登校することができなくなった。小学校5年生の1年間は、登校日数は0日であった。学級担任、SSW、SC、特別支援室の巡回指導教員の協力の下、小学校6年生の9月から登校し始め、10月末現在、8日間登校している。

具体的な取組

○安心できる居場所づくり

校内別室に、衝立を置き、プライバシーに配慮した。また、ソファを置くなどし、居心地のよい環境になるようにした。

教室にいられないときも居場所があることで、登校することへの負担感の軽減につなげることができた。

○関係職員間での情報共有

毎週の生活指導夕会で不登校児童について共有した。また、校内別室での様子やSCとのやり取りを記録し、回覧した。

そうすることで、学校全体で当該児童の状況を把握できるようにした。

○SSW との連携

昨年度から担任とSSWが連携し、家庭訪問を行っている。最初は、顔を見せたくないこともあったが、定期的に訪問することで、職員に対しての距離が縮まり、登校への意欲につながった。

SSWの勤務日は、登校時に迎えに行き、学校までスムーズに行けるようにした。

○保護者との連携

一人で登校することにまだ不安感があるため、保護者が一緒に登校することで、少しでも当該児童が安心して登校できるようにした。

また、担任から保護者と当該児童に、学校でしていることや、行事などを伝えることが、登校するきっかけづくりとなった。

成果

昨年度は1度も登校できなかったが、今年度は、校内別室を利用し、10月末までに8日間登校することができた。当該児童は、学校に登校することに前向きな気持ちをもち始めている。

課題

在籍学級で学習をすることはまだできていないので、好きな音楽や図工の時間割を中心に、短時間でも学級の友達と学習できるように促していく。